

[基本教育科目/社会の理解]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
環境と資源	NLA11_016	選択	2	1・2・3・4	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
村上 雅博	教員控室	kango	Teams 授業後半 30分に質問等受付		
授業の目的・概要	<p>地球規模と地域の環境と資源・エネルギーおよび自然災害について学び、Think Globally &amp; Act Locally (地球規模で考えて地域で行動する)の視点から看護と公衆衛生を有する生命倫理の問題と課題について考えて、自身の言葉(文章)で意見や論点を主張することができるような能力を身につけていくことが目的である。</p> <p>講義では Teams を活用し、エネルギーや食料等の基本資源の大部分を海外からの輸入に依存している環境先進国日本の問題と課題を含む主要テーマ [地球環境、温暖化、気候変動、自然災害、生物多様性・生態系管理、原子力発電問題、自然エネルギー、エネルギー資源、水資源、森林資源、衛生環境(上下水道・ゴミ)、感染症、保健(公衆)衛生、環境・生命倫理、科学技術と安全、等] について解説する。</p> <p>今、新型コロナ(COVID-19)禍問題で直面している公衆衛生と生命倫理にも接点をもつ授業なので、人の命と健康に直接に係わる看護師や保健師の職業倫理に係わる基本的人権や公正や正義及び功利主義と義務論にも着目している。地球と生命(ウイルス・細胞)の起源と人類の進化に至る 46 億年の歴史的な変遷についても解説していくので、地球環境や資源・エネルギーに加えて COVID-19 係わる新しい問題についてもより深く考えて課題を解決していく力を高めていこう。</p>				
学習上の助言	<p>講義のユニットごとに PPT/PDF の電子ファイルと基本的なキーワードを含む小テスト(穴あけ・知識問題:各 10 問)形式の学習プリントが Teams にて配布されるので、積極的に予習・復習と試験の対策に活用してほしい。講義の終盤の約 30 分間でキーワード演習を Teams レポート形式で実施するのでその場の講義時間内で要領よく対応してほしい。同時に演習時間内に質問・コメント(Teams のマイクをオンにして)をしてください、約 30 分間ほどありますので挙手を歓迎します。</p>				
教科書	教科書は指定しない。必要な参考資料プリント(PDF)と講義用の PPT/PDF ファイルを事前に Teams で配信。				
参考書	教科書・参考書に相当する配布テキストは全て無料で Internet-Web に公開されています。出展の URL: <a href="http://">http://</a> を明記した小テスト(穴あけ問題)形式の参考資料プリントを配布する。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	地球環境と生命倫理・環境倫理と看護師・保健師の職業倫理にも係わる、広範な知識を習得し、目的や役割と意義に加えて問題の所在を見出して解決につながる課題について考える力を身につけ、自分の言葉(文章)で論点を説明することができる。	HSU(1)(2)(3)(4)(5) NS(1)(2)(4)(5)			
②	生命倫理・環境倫理に係わる、環境と資源・エネルギーと災害の問題と課題を含む意味深な境界領域のテーマについても、チャレンジする。新型コロナウイルス(COVID-19)問題を直近の緊急課題と捉えて学びの幅を広げ、責任のある職業人(プロフェSSIONAL)としての意識を高めていくことができる。	HSU(1)(2)(3)(4)(5) NS(1)(2)(4)(5)			
授業計画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	プロローグ:環境:Umwelt とは何か: 21 世紀は“環境と生命”の世紀⇒新しい地球環境問題: コロナウイルスと共存する社会について考える	同時双方向型授業	シラバスと配布資料(+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2	
2	[A-1] 地球環境: 地球環境科学: 気圏/水圏/地圏と深層海流が支配する地球の大気・水循環システム	同時双方向型授業	シラバスと配布資料(+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2	
3	[A-2] 地球環境: 地球規模気候変動と温暖化:大気・水循環システムの変貌と地球温暖化で激化する自然災害の脅威	同時双方向型授業	シラバスと配布資料(+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2	
4	[A-3] 地球環境: 生物多様性保全: 生物は、何のために、どの様に生きるのか?“働き蟻”と“カッコウオナガ鳥”の生き残り戦略	同時双方向型授業	シラバスと配布資料(+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2	
5	[B-1] 地球(生命)科学: 地球の誕生とウイルス/原生動物の起源と進化 [冥王代~太古代]	同時双方向型授業	シラバスと配布資料(+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2	
6	[B-2] 地球(生命)科学: 地球環境(気圏・水圏・地圏)の形成と細胞生物の進化 [原生代]	同時双方向型授業	シラバスと配布資料(+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2	
7	[B-3] 地球(生命)科学: 地球環境の発達史と生物の進化 [顕生代: 古生代・中生代・新生代]	同時双方向型授業	シラバスと配布資料(+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2	
8	[B-4] 地球(生命)科学: 人類の起源と歴史:ネアンデルタールとホモサピエンス [新生代:第四期]	同時双方向型授業	シラバスと配布資料(+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2	
9	[C-1] 地球(環境)資源:「水資源」: 地球の水循環と日本の食糧安全保障&パーチャル・ウォーター	同時双方向型授業	シラバスと配布資料(+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2	
10	[C-2] 地球(環境)資源(3-2):「森林」: 森林資源の役割と CO2 削減および京都議定書/COP-21/パリ合意の意義	同時双方向型授業	シラバスと配布資料(+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2	
11	[C-3] 地球(環境)資源: 「エネルギー資源」: 化石燃料および自然(再生)可能エネルギーと固定価	同時双方向型授業	シラバスと配布資料(+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2	

[基本教育科目/社会の理解]

格買取制度(FIT)							
12	[D-1] 地域の環境と災害: 富士山: 桂川水系の豊かな自然環境と自然災害の脅威	同時双方向型授業	シラバスと配布資料(+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2			
13	[D-2] 地域の環境と災害: 東日本大震災: 福島原発事故と環境政策における究極の選択と課題	同時双方向型授業	シラバスと配布資料(+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2			
14	[E-1] エピローグ: 歴史と経験から学べる事: 失敗学とパレートの法則および PDCA サイクル	同時双方向型授業	シラバスと配布資料(+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2			
15	[E-2] エピローグ: 究極の選択と職業倫理: 環境と生命の 21 世紀にポスト(With/After)コロナ社会と共存していくために我々が出来ること	同時双方向型授業	シラバスと配布資料(+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。	2			
試	定期試験: 論文問題(50 分間)+知識問題(25 分間)						
達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	課題レポート	成果発表	ポータル	その他	合計
		60	30	10	5	5	100
総合力指標	知識・技術力	20	10	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	20	10	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	10	0	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	5	5	10
	問題を発見・解決する力	10	10	0	0	0	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	キーワードの穴埋め問題形式で小テスト(50 問)を実施し課題演習シート+PPT ファイルから出題し、基本的な知識習得の達成レベルを最終的にチェック(評価)する。				知識問題テスト→総合評価(100%)点の 20%で評価。 論文テスト→総合評価(100%)点の 40%で評価。
	②		論文試験(1,200 文字)では、「問題」の所在を抽出し、その問題を解決するための「課題」について考えて目的や必要性や意義を理解して総合的に考察する力がどの程度ついてきているかを評価する。				
演習レポート	①	✓	各講義の終盤に約 30 分間程度の課題演習専用の時間帯を設定するので、事前に Teams にアップロードされている当日の「課題(キーワード)演習シート」に取り組み、当該授業の終了時間までに自ら Teams にアップロードして提出にかえる。内容は重要と考える順でキーワードを 3 つ(①,②,③)選び、その中で最も大切だと自信が評価する No.①キーワードについて、なぜ興味をもち重要だと考えたかの理由を 300 字以内の文章にしてとりまとめる。質(内容レベル)と量(文章・文字数)の両者からも合わせて評価する。				総合評価(100%)点の 30%で評価。 第 15 回目最終講義で講評する。
	②	✓					
成果発表	①		コロナ対策のためディベート発表形式は物理的な休止				
	②						
ポータル	①	✓	授業の展開段階における成長過程を評価したい。				第 15 回目最終講義で講評。
	②	✓	出欠状況と参加姿勢: 質疑応答および課題(キーワード)演習レポートへの取り組み内容レベル等を含めて総合的にチェックする。				
その他	①	✓	まじめに継続的に講義に参加・出席する姿勢と結果を評価したい。				第 15 回目最終講義で講評。
	②	✓	出欠状況と参加姿勢: 質疑応答および課題(キーワード)演習レポートへの取り組み内容レベル等を含めて総合的にチェックする。				
備考							
<ul style="list-style-type: none"> <li>Teams を使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨します。</li> <li>今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性があります。</li> </ul>							